

## 学校関係者評価報告について

専修学校熊本YMCA学院

学院長 光永 尚生

専修学校熊本YMCA学院では、すべての教育内容や通常の業務において、現状を点検し、更なる改善・向上を図っていくため自己点検・評価に取り組み、「学校評価報告書」を取りまとめ、本校ホームページ上で公表いたします。

去る2023（令和5）年6月に、学校関係の知見が深い方々を中心にご意見等を伺い、今後の教育活動や学校運営に反映させるべく、学校全体に係る「学校関係者評価」を実施いたしました。学校関係者評価委員会では、多くの貴重なご意見やご指導をいただき感謝申し上げます。

また、あらためて学校評価の重要性を認識したところです。ここに、学校関係者評価の内容につきまして報告いたします。今後とも、より良い学校運営を目指し、教職員一同努力して参る所存であります。引き続き一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## 記

## 1. 「学校関係者評価」の実施方法について

今回の学校関係者評価は、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえた評価項目に沿って実施し、本校の「2022年度 自己評価」について、専門学校に関係の深い評価委員に評価していただいた。

各評価委員には、学習の成果についての報告を行い、委員会にて意見等を聴取した。その内容等について要約の上、報告書として取りまとめた。

## 2. 委員

	氏名	所属	専任区分
外部 関係者	村上 泰浩	崇城大学 工学部 建築学科 非常勤講師	有識者
	櫻井 孝一	ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイ	企業
	本田 あずさ	済生会病院 診療情報管理士	卒業生
	渡邊 裕晃	卒業生 元保育士	卒業生
	丸目 陽子	公益財団法人熊本YMCA みなみセンター館長	団体
	光永 尚生	熊本YMCA学園 学院長	職員

## 3. 委員会

日時：2023年6月26日（月）19：00～20：30

（1）開会 学院長挨拶

（2）議長選出 村上泰浩委員

### (3) 2022 年度学習の成果及び自己評価

#### ○2022 年度教育目標に対する成果について

- ・コロナウイルス感染症やウクライナ戦争の状況など混とんとする世の中にあつて、経済的な影響を大きく受けた業界や業種の情報を得ながら、就職活動や通常授業、施設見学や卒業生講話、業界人との交流などを実施。また学びの集大成としての卒業制作など実施した。
- ・検定合格率平均 70%の目標に対して、実績は 70%であった。  
卒業生の中から一級建築士に 5 名合格するという快挙も見られた。
- ・対人関係能力やマナー教育等のキャリア教育を進め、全体就職率 100%、各専門分野の就職率も高い数字を達成することができた。
- ・自立した社会人養成のために、ボランティアや地域社会での活動に積極的に参加する機会を作り、学生たちの成長の機会を提供した。
- ・学科担当及び学校全体での丁寧な学生ケア、日常的な相談の機会を作り、退学率を抑制する努力をしたが、昨年より多くの退学者を出すこととなった。退学率 5.9% (昨年比+0.9%)

#### ○2022 年度学校自己評価集計表について

全体的に自己評価のポイントは向上。

##### 教育理念・目標について

- ・教育理念や目的は明確であるが、5 学科あることでの伝わりづらさ、情報取得の変化に対応した情報発信などより効果的な周知を検討する必要がある。

##### 学校運営について

- ・人材不足と専門性の課題から、人的体制と業務量に偏りが見られる。業務内容の見直し、見える化が必要である。
- ・広報活動の専門性を高め、広報と学生募集に力を入れる必要がある。

##### 教育活動について

- ・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上ための取り組み、職員の能力開発のための研修、現場実習等について、継続的な取り組みが必要。

##### 学修成果、学生支援について

- ・就職希望者の就職率 100%。
- ・同窓会組織のシステム化が求められる。卒業後の継続的なつながりが必要である。
- ・学生が相談しやすい環境づくりが求められる。

##### 教育環境について

- ・新校舎での学びが充実するように授業を進めつつ、より良い環境改善を図っていく。
- ・東部センターの活用など今後の取り組みを考えていく。

##### 学生の受け入れ募集について

- ・大学全入時代、18 歳人口減の中での選ばれる専門学校の在り方をさらに研究する必要がある。
- ・建築科の募集が好調。他学科においても、募集強化が必要。

##### 社会貢献・地域貢献について

- ・地域住民の健康づくりや子どもたちの支援を継続して行ったり、学生たちの社会貢献の場をつくり地域とのつながりを強めている。

#### (4) 質疑応答および意見

- ・就職率 100%や資格取得の合格率が上がっていることは、専門学校として重要である。
- ・就職の地元志向が増えている傾向であり、学生たちのキャリア教育についてニーズに合わせた支援が必要である。
- ・社会の変化の中、今後もオンラインや働き方改革を考える上でもデジタル化は必須である。
- ・ほとんどの項目で評価は上がっているが、昨年よりも評価が下がっている項目について、真摯に受け止め改善をお願いしたい。
- ・社会情勢が不安定なことも大きく影響する。将来を見据えた学校運営を考えるべきである。
- ・新校舎の教育効果や学生募集への効果はもっと発揮できる。今後も地域に開かれた学校運営を期待したい。
- ・SNS など情報発信について、若い世代に向けた取り組みをもっとする必要がある。
- ・YMCA として、国際性を意識した人材育成は重要であり YMCA 学院の特徴となる。
- ・教育の質の向上について、教職員だけでなく、実習現場のある YMCA だからこそ教職員以外からも教育していただく機会をもっと持つことが重要である。

#### (5) 閉会

本校における評価を真摯に受け止め、教育の質の向上、人材育成、留学生の受け入れ対応、社会人の学び直しを推進すべくリカレント教育の研究を進めていき、評価すべき取り組みは継続し、課題や改善点を整理し、改善方策を検討していく旨、報告があった。

以上